

ザ・ペンス サロン

筆者の豊富な機微に通じた人生経験から、夢と希望の光を希求する、次世代へのメッセージ!

ジョークサロン会員 / リレーエッセイ⑪

無手勝流コミックどいつ瓦版

コミックどいつを始める前に、七五調としては俳句、川柳、短歌や狂歌があります。これらに興味をもつ内に都都逸に迷い込んで来たようなもので、その後さまざまな会に首を突っ込んでいます。

休日には地元の川柳会へ参加したり新聞・雑誌・ラジオ放送等に投稿するなど、ハガキ代では郵政省(現在は日本郵政グループ)に随分と貢献しています。

ジョークサロンへの参加はひよんな機会で、手品の会でジョークサロンの会員の長井さんと偶然にお会いしたことでした。通常の冗談から談笑のうちに、手先も口先も手品から離れて長井さんの話に溺れてしまったのが参加のきっかけになりました。

●ジョークは技術、ユーモアは人格!
このような格言の記載のある伝笑鳩の資料を頂いて熟読しました。

この頃から雑多な七五調の気分を七七五調のどいつ調に宗旨替えし、趣味も整理整頓して新規の道を歩もうとしたのが1991年の暮でした。

●作句場所

風呂やトイレや床の中をモットーに手帳を持ち歩いては、思いついたことを記録して参考資料として三四調、四

三調、五調等のリズムの語句を纏めたノートを作つては、随時に追加してまです。このノートは折り込みの作句時に役立つています。

(例1・ねずみ年)

●子年練る年 頭脳を刺激
見事成就の 年にする

(例2・うしとし)

●打つ手あれこれ 新型コロナ
毒のウイルス しかと絶つ

(例3・とらとし)

●時はデジタル 楽そうだけど
どこもかしこも 新装置

(例4・うさぎ年)

●右脳煽てりや 左脳も踊る
ギアの切り替え 年はじめ

(例5・たつとし)

●頼る政治が つまづき加減
何処へ向かうか 知れぬ先

(例6・へびとし)

●平和や争い 微妙な世界
どうすりゃいいの か 視界ゼロ

(例7・うまとし)

●うまい話は 真とにも乗るな
どれも怪しい 新手詐欺

(例8・ひつじ年)

●肥満大敵 つまましい食事
人生明るい 年の功

(例9・さるとし)

●酒は百薬 ルンルン気分
度数無視すりゃ 死の恐怖

(例10・とりとし)

●トランプ政治は 理解に苦心
どんな舵取り 四苦八苦

(例11・いぬとし)

●息をひと吐き 拭った汗に
ドラマ起きそう 仕切り前

(例12・いのしし)

●石の頭も 脳みそ軟化
四の五の取り付く 習慣病

※またまた起きたコメ騒動

近頃しばしば話題に上がるコメ騒動の有名な事件では、大正七年(1918年)の富山県魚津の漁村から起こり、全国に波及した米騒動があります。

近年も平成三年(1993年)コメ不足で、また令和六年(2024年)にもコメ騒動が起こって今だに続きうそでコミックどいつ瓦版

●三ちゃん農家に 後継ぎなくて
減反・凶作・備蓄なし

●農政いびつで 農家がいびつ
米櫃いびつに なる家計

●米の業者が 操る米価
新米出てくりゃ 安くなる?

●返礼品には 銘柄米を!
軽く言ひすぎ てんてこ舞い

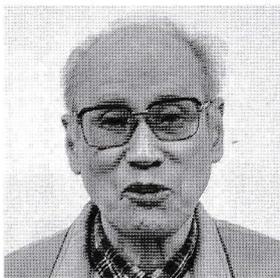
※北海道編(昆布都々逸)

●何んで美人に なつたと聞かれ
昆布食べたと 打ち明ける

●昆布食べたら ニニコニコ元氣
夫婦円満 福を鼓舞

著者プロフィール

たかぎ まさあき
高木 正明



1936年、大阪市出身
高卒後、職としては父親の町工場がスタート。
仕事内容は機械の整備、設計、製造、組立、調整、納品等の何でも屋で、夜は東京電機大の夜間部(電気科)通いが二十歳前後の時代。
この頃は東京五輪の誘致などで多忙な時代でカラーTV放送開始、東京タワー建設、新幹線開業、高速道路開通等々、各家庭ではカラーTV・電話機・水洗トイレ設置の奨励などで、やたらに忙しい時代でした。